

学校関係者評価報告書

愛媛県立三崎高等学校
学校番号 (39)

評価実施日		平成 29 年 2 月 22 日 (水) 実施	
委員	氏名	所属等	備考
	山内 弘信	伊方町人権擁護委員	
	松本 充範	三崎区長・学校評議員	
	白石 敬治	三崎駐在所長	
	井上 浩	三崎中学校長	
	宇都宮 清三	三崎小学校長	
	眞田 八重子	学校評議員	
	菊池 拓也	PTA 会長	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>今年度の最終評価について</p> <p><学校経営について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし活動と学力アップの両立はすばらしいことだが、教員の負担は大きいと考える。 ・三崎高校は、緊急時の避難場所になっているので、もっと地域の人に周知していただきたい。また、今後地域と連動した避難訓練の実施を検討していただきたい。 ・防災に関しては、小・中学校も連携して行ってきたい。 ・来年度は保育園が新しく建設されるため、保・小・中と連携した避難訓練を行ってほしい。 ・伊方町内の小・中学校の児童数は増えることはないため、伊方町外の子どもたちをどのくらい呼べるのが大事である。一人でも多くの人に来てもらいたい。 ・変わる事のない三崎高校の良さが、今年度は様々な取組をされたことによって、より感じられた。 <p><学習指導について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標は大きく掲げることが大事であると感じる。学力アップという目標を掲げて、今後も継承して行ってほしい。 ・高校のスタディサプリの取組がすばらしいと感じる。 ・授業参観（焦点授業）は来年度もぜひ行ってほしい。 <p><図書活動について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書ではどのような本を読んでいるのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・校内での業務分担等を見直し、効率的な学校運営を行いたい。 ・保・小・中・高、さらには地域と連携した避難訓練を実施できるように計画したい。 ・地域と連携した避難訓練を行うことで、避難場所としての三崎高校の位置づけを周知したい。 ・地域活性化事業と進路実現を両輪として、三崎高校の魅力を広く発信したい。 ・伊方町と連携して首都圏での PR 活動等も含めて、三崎高校の情報を発信したい。 ・大学等の情報を生徒に伝え、高い目標を持たせる指導を行いたい。 ・スタディサプリアをさらに有効活用することで、生徒一人一人に応じた学習活動を行ってきたい。 ・自分で選んだ、活字で書かれた本（雑誌等は除く）を読ませている。 	